

令和5年度第2回新津第五圏域支え合いのしくみづくり会議 まとめ

【日 時】 令和6年2月5日（月）10:00～11:30

【会 場】 新津地域学園 研修室 306

【出席者】

満日コミ協：小池社会福祉部会特別部会部員、新津東部コミ協：馬場福祉健康部委員、阿賀浦コミ協：坂口社会福祉部員、新関コミ協：渡辺会長、新津東部地区民児協：小林会長、新津阿賀地区民児協：山田副会長、NPO 法人たか坪の会：上杉副理事長、包括にいつ日宝町：遠藤所長、秋葉区健康福祉課 高齢介護担当：林副主査、今井係長（行政担当者）
秋葉区社協：横山事務局長補佐(事務局)、熨斗地区担当、小林 SC（1層）、時田 SC

1 今年度のふり返り

テーマ① 見守り対象外世帯の課題について

内容

・相談先一覧表の作成（新津東部・阿賀浦・新関）

ふり返り（相談先一覧表の作成について）

- ・事業や予算の関係で作成できなかった地区もあり、今後検討していきたい。
- ・回覧で周知し、見守りで訪問した時に説明を行った。
- ・実際に自分も活用したことがあり、相談先が分かることで安心感につながる。
- ・緊急情報キットとともに説明を行い、大切さを伝えることができた。配布だけでなく周知の機会を作ることが必要。
- ・緊急連絡先を記入できる欄を追加するなど工夫して作成した。
- ・失くしてしまった方もいたため、配布の時に失くされないような工夫が必要。
- ・ひとり暮らしで心配な方へ訪問するきっかけとして活用した。
- ・保管する場所が大切であり、防災の緊急連絡網と一緒にして家庭で目に付く場所に置いてもらうなど工夫して周知していきたい。
- ・子育てほっとステーションの連絡先、包括にいつ日宝町の表記など改正する際に注意が必要。
- ・どこに相談したらよいか一目見て分かるのはよい。

今後の取り組み

- ・相談先一覧表の作成の提案
 - ・相談先一覧表の作成や配布により出てきた課題については地区ごとに検討
 - ・地区ごとの見守り等の活動の中で見守り対象外世帯への取り組みを検討
- 地区ごとの取り組みの中で継続して取り組んでいくこととし、圏域のテーマとしての検討は終了とする。

意見等

- ・地区ごとに見守りの取り組みは違うため地区ごとの検討でよい。
- ・地域の交流の基本は挨拶であり、挨拶からよい地域づくりが進んでいく。その中でアンテナを張りながら、支え合いが進められるとよい。

テーマ② 支え合いのしくみづくりの取り組み方法について（第3層の役割）

内容

- ・第2層の支え合いのしくみづくり推進員がまとめ役となり、取り組む

ふり返り（支え合いのしくみづくりの周知について）

- ・コミ協等の役員は知っているが、地域の方は知らない方も多いと思う。
- ・コミ協の広報誌などで周知できるとよい。
- ・地域の集まり（老人クラブ等）の中で説明していくとよい。
- ・具体的にどのような活動がされているのか事例を交えて話すとうい。
- ・地域福祉推進フォーラムで支え合いのしくみづくりの構成員が発表していたのを聞いて、少し周知できたと思う。
- ・お互いに助け合っている地域もあり、「しくみ」というと固いイメージを持ってしまう。
- ・何気なく行っているものが支え合いの取り組みであることを伝えるのも大切。
- ・支え合いのしくみづくりと地域福祉懇談会とのつながりがよく分からない。

今後の取り組み

- ・第2層の支え合いのしくみづくり推進員が継続して取り組んでいく
- ・支え合いのしくみづくりの周知

→ 周知するのに効果的な場所（集いの場）や地域の取り組みの具体的な事例の情報収集については構成員からも協力いただき、進めていく。

- ・ 支え合いの取り組みが進むよう取り組みを継続していくが、圏域のテーマとしての検討は終了とする。

2 令和6年度の取り組み

①圏域の取り組みについて

課題

- ・高齢者人口が増加しても介護保険を持続可能なものにしていくために身体介護を伴わないものは地域のボランティア等住民主体での活動を優先するよう指導がある。
- ・ごみ出しは生活の中で毎日関わってくるため、地域での助け合いがあるとありがたい。
- ・社協のふれあい福祉サービスもごみ出しの依頼が多く、このままだと対応が難しくなる。
- ・ごみ出しを助け合いで行っている地域もある。
- ・制度を利用するのに抵抗がある方もおり、短期間ごみ出しを手伝ったことがある。
- ・ごみ出しについて困る方が増えてきたら、地域での助け合いを相談したいと思っている。

→令和6年度の圏域のテーマは「ごみ出しについて」を検討する。

②認知症に関する取り組みについて

意見等

- ・認知症の取り組みは大切だが、圏域で話題が出ていないのに取り組むのは疑問に思う。
- ・認知症の予防に力を入れて取り組んでほしい。（食事、運動、社会貢献の大切さを伝える、チェックシートなどがあればそれを活用して早期発見につなげるなど）
- ・地域包括支援センターとも連携して取り組みをすすめていきたい。